

新型コロナウイルス感染症に関する新聞報道等

＜新型コロナウイルスによる影響＞

No.	概要	キーワード	詳細
1	沖縄国際大学が入構禁止 隣接する米軍基地の感染拡大受け	教育	在沖米軍関係者の新型コロナウイルス感染者が急増していることを受け、緊急措置として大学への立ち入りや対面授業、学内施設利用、学外活動などを17日から22日まで原則禁止すると発表した。(7/16)
2	大学・高校の有志、勉強の遅れに不安も	教育	生活や勉学に悩みを抱える学生の声を集めた「沖縄県内学生への緊急支援を求める学生有志の会」は15日、沖縄県と県教育委員会に対し、経済的な影響を受けた学生への支援金給付などを求める要請書を提出した。アンケートの結果、学生からは「アルバイトができず奨学金が減らされ生活が苦しい」「勉強の遅れに不安を感じる」などの声が上がっていた。(5/17)
3	沖縄の学校の77% 「コロナが平和学習に影響」	教育	沖縄県内の小中学校など242校が回答した平和学習に関するアンケートでは、77.6%の学校が「学習内容に変化がある」と回答した。新型コロナウイルスの影響で多くの学校が沖縄戦体験者など外部講師の講演を中止し、オンラインや新聞などを活用する学習に切り替える傾向が見えた。(6/12)
4	コロナで留学多様化 オンラインの動き進む	教育	新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が、大学生の海外留学に影響を及ぼしている。日本から各国への渡航制限が続く中、卒業要件となっている留学の延期を決めた大学も。一方、日本にいながら海外の授業を受けることができる「オンライン留学」の実施を検討する大学も出てきており、今後、留学の在り方も多様化しそうだ。(8/9)
5	「万が一両親にうつしたら・・・」 司法試験、沖縄に受験会場なく悩む受験者 国は救済策講じず	教育	新型コロナウイルス感染拡大で、東京や大阪など一部の都市でしか受験できない国家資格の沖縄県内の受験生が不安を抱えている。弁護士などになるための司法試験は県独自の緊急事態宣言の期間中に実施されるため、状況はより深刻だ。(8/8)

6	コロナ感染者出たら5日間臨時休校 沖縄県教委が県立学校へ方針	教育	金城弘昌・沖縄県教育長は高校や特別支援学校など県立学校で新型コロナウイルスの感染者が出た場合の対応について、感染者が出た学校は原則として5日間程度の臨時休校とする考えを示した。(7/15)
7	沖縄、県立高校16日まで臨時休校 3年生のみ11日から時差登校	教育	沖縄県教育委員会は10日、新型コロナウイルス感染防止のため県立高校の一部を12日から16日まで臨時休校とすることを決定した。休校の対象は高校1・2年生と特別支援学校、県立中学校。進学や就職を控える3年生は時差登校で11日から登校する。(8/10)
8	夏休み明け、高校生すぐ下校 前日決定「リズム崩れそう」	教育	新型コロナウイルスによる長期休校の影響で10日間に短縮された沖縄県立高校の夏休みが10日で終了し、11日朝から生徒の登校が再開した。しかし、県内での感染拡大を受け、生徒らは午前中で下校した。12日以降、高校1、2年生は再び臨時休校し、大学受験や就職を控えた3年生のみが登校する。臨時休校期間は16日までの予定。(8/11)
9	小学校の教員2人コロナ感染 きょう2学期始業 宜野湾市	教育	【宜野湾】宜野湾市内の小学校1校で1～10日の夏休み期間中、教員2人が新型コロナウイルスに感染したことが10日、分かった。保健所から校内消毒は不要との助言があったといい、消毒を実施せず予定通り11日に2学期の始業式を実施する。濃厚接触者に当たる教員はいないというが、念のため数人を自宅待機させている。(8/11)
10	コロナ休校で「昼夜が逆転」 「勉強遅れそうで困った」 「暇だった」も多数 沖縄の 団体が小中高生ら調査	教育	新型コロナウイルスの感染拡大による教育現場の課題を考える団体「学びを止めるな！実行委員会」は、「第1波」で学校が休校になった県内の学生らを対象にアンケートを実施した。約70人が回答し、小中学生からは「勉強が進まない」「早く学校に行きたかった」など焦りや不安の声が多く寄せられた。(8/7)
11	那覇の認可園クラスター 前 日から倍増37人 園児と職員 の感染を確認	子ども/教育	県は10日、那覇市内の認可保育園での新型コロナウイルスクラスター（感染者集団）が前日の15人から37人に倍増したと発表した。確認されているのは園児と職員で、保護者が含まれるかは確認中とした。(8/11)

12	コロナ休校中の授業配信 県立高の学習環境にばらつき	子ども/教育	新型コロナウイルスで続いていた臨時休校中に、県のシステムを活用して授業動画を配信していた県立高校は4月28日現在、全60校中4校にとどまったことが分かった。11校は独自で民間企業作成の授業動画を導入。一方、動画配信をした一部の学校も含めて41校は、生徒に課題提示とメールでのやりとりをしていた。(6/7)
13	コロナ不況で減免家庭が倍増 沖縄県営住宅の家賃 4、5月 で401世帯	子ども/家庭	新型コロナウイルス感染拡大の影響などで収入が著しく減収したとして、沖縄県営住宅の家賃を減免した世帯が4、5月の2カ月で401件に上り、前年同期の213件から約1・9倍に増加したことが11日までに、県のまとめで分かった。(6/12)
14	シングルマザーの切実すぎる 不安	子ども/家庭	沖縄タイムスは読者からの疑問や困り事を募ったところ、感染の収束が見えない生活に不安を抱く県民の声が数多く寄せられているとした。「政府の10万円給付はありがたい。ただ、一時しのぎで先の生活が見通せない」「子どもを預けられず仕事を辞めて収入がない」「シングルマザーで勉強も見られず、遊んであげる時間もない。子どもの心のケアができる相談窓口や食事を提供してくれる場がほしい」などの声が寄せられた。(4/27)
15	職探しが難しいひとり親の 窮状	子ども/家庭	4人の子どもを抱えるシングルマザーのコロナ禍における現状を取材。新型コロナの影響で、学校や保育園は休みが続き、子どもと自宅にいる生活で就職活動も進まなかったとしている。(6/4)
16	コロナ疲れ 家庭に打撃 子ども、保護者にもストレスに	子ども/家庭	インターネットを通して、小中高生と保護者合わせて約7400人がアンケートに回答。「旦那の飲酒量が増え暴言が増えてきた」「食費がかさむ。毎日考えて作ることに疲れる」「受験勉強の遅れが不安」「学校からの勉強を教えてくれる人がいない」などの回答があった。(5/19)

17	目立つ不登校増 子どものSOSとして受け止めて	子ども	新型コロナウイルスの影響で社会全体の変化が大きく、子どもたちもその影響を受けている。スクールカウンセリングの現場でも、登校時に頭が痛い、おなかが痛いなどの身体反応を示す子どもが増えたとの声が上がっている。(6/18)
18	コロナの経済支援対象外の外国人 帰国費用もなく困窮	外国人	特別定額給付金等の支援対象外となった外国人労働者たちが突然解雇になるなど先行き不透明な状況下に陥っている。(6/30)
19	特例貸し付けに留学生殺到 那覇は申請者の15%	外国人	住民票がないなど貸し付けの対象外にされる外国人もおり、支援制度の課題が浮かび上がっている。申請者のうちネパールからの留学生が9割を占める。日本語がうまく話せない若者もおり、支援者や友達と団体に訪れる例もある。コロナで仕事を失い、就労ビザの期限切れで住民基本台帳が取り消された中長期在留者の外国人もいる。(6/30)
20	沖縄、今後1週間で700人感染か 医療機関に160床増を要請	医療/福祉	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、県と、感染者を受け入れる病院が協議する病院長会議が10日、南風原町の県医師会館であった。県は、今後1週間は新規感染が増え続ける見込みで、入院の必要な患者が増えるピークは16日になるとの推計を報告。現状より病床を160床増やす必要があるとして、医療機関に協力を呼び掛けた。(8/11)
21	コロナ療養施設設置で看護師ら 足りず 沖縄県、復職呼びかけ	医療/福祉	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う病床確保を目的に、沖縄県は軽症者用の宿泊療養施設として那覇市や宮古島市、石垣市でホテル計4施設を確保した。病床が逼迫(ひっばく)する中で、重症者を優先して医療機関で受け入れるための対策だが、ホテルで看護業務に当たる医療従事者が足りないという課題に直面している。(8/10)
22	感染リスクと人員不足… 医療従事者、 疲労ピーク 入院200人超、 病床計画上回る	医療/福祉	感染者の急速な拡大で県内の医療提供体制が逼迫(ひっばく)している。8日時点で入院中の患者は237人に上り、県が新型コロナウイルスの感染第2波に備えて策定した病床確保計画の入院患者推計200人を上回った。病床利用率は118.9%に上っている。病床の逼迫とともに県内の病院では医療従事者への負担が増大し、「感染リスクと人員不足で心身の疲労が重なっている」と窮状を訴える声も上がる。(8/9)

23	電話鳴りっぱなし 感染急増の沖縄、保健所に相談1日276件も	医療/福祉	県内の新型コロナウイルス感染者急増に伴い、各保健所の業務が再び逼迫（ひっぱく）している。中南部を中心に各保健所へ相談の電話が殺到し、つながりにくい状態になっている。那覇市保健所では7月30日に受けた相談が過去最多の276件に上った。コロナ対応に注力するため、県内全6カ所の保健所でエイズウイルス（HIV）検査を再び休止するなど他の業務にも影響が出ている。（8/2）
24	「医療崩壊を食い止めねば…」沖縄、不足する従事者経験者確保を急ぐ県の危機感	医療/福祉	沖縄県は新型コロナウイルスの感染急増で、2日からホテルなど宿泊療養施設の医療従事者の募集を始めた。無症状者や軽症者には自宅療養の協力を求めるなど、逼迫（ひっぱく）する医療提供体制の確保が急務となっている。那覇市内に追加で確保したホテルは4日から運用すると発表した。（8/3）
25	沖縄の老人ホームでクラスターか 70～100代の入所者ら7人感染	医療/福祉	日赤安謝福祉複合施設（那覇市安謝）に入る特別養護老人ホームの70～100代の入所者と30～50代の施設職員計7人が、新型コロナウイルスに感染していたことが分かった。同老人ホーム内でクラスター（感染者集団）が発生している可能性がある。（8/7）
26	感染広がる宮古島 「県や市は踏み込んで対策を」医療体制のもろさに危機感	離島	【宮古島】新型コロナウイルスに感染し、宮古島市の県立宮古病院に入院していた高齢女性が死亡したことを受け、市民からは10日、「医療体制の脆弱（ぜいじゃく）さが突きつけられた」など、不安や懸念の声が上がった。（8/11）
27	宮古島の重症患者を自衛隊ヘリが本島搬送 コロナで初	離島	陸上自衛隊第15旅団は8日、玉城デニー知事の要請を受け、新型コロナウイルス感染症患者を宮古島市から沖縄本島にヘリコプターで搬送した。陸自による新型コロナ感染患者の搬送は県内初という。（8/10）
28	西表島で新たに3人感染 BBQの参加者 町長は外出自粛を呼びかけ	離島	沖縄県の竹富町は7日、西表島で新たに3人の新型コロナウイルス感染者が確認されたと発表した。1日に感染が判明した石垣市美崎町のキャバクラ店で働く20代女性の濃厚接触者で、いずれも島在住の会社社長の40代男性、会社員の20代男性、40代男性（職業調査中）。7月27日、20代女性を含む計10人で島内のバーベキューに参加していた。（8/8）

29	観光客は来島自粛を 感染再 拡大受け多良間村が声明	離島	【多良間】新型コロナウイルス感染の再拡大を受けて、多良間村の伊良皆光夫村長は1日、観光客の来島自粛を求める声明を発表した。出張など仕事の場合は最大限の対策と最小限の人数での来島を求めた。伊良皆村長は「ウイルスを島に持ち込ませないことが最善の対応だ」として協力を求めた。(8/3)
30	休業要請に戸惑い 宮古・石 垣 地域経済へ打撃も	離島	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、県は5日、不要不急の外出自粛要請を県全域に拡大し、宮古島市や石垣市の繁華街にある接待・接触を伴う店舗に7日から20日までの休業を要請した。病床数が限られた離島の医療体制はひっ迫しており、事業者には「仕方がない」と受け止める向きもある。一方地域経済に与える打撃は大きく、急きょ発表された県の方針に戸惑いも広がる。(8/6)
31	沖縄県の感染者、繁華街も離 島も急増 検査対象絞る方針	離島	沖縄県は7日、新たに10歳未満から90歳以上の男女100人が、新型コロナウイルスに感染したと発表した。県が発表した1日の感染者数としては、今月4日の83人を大幅に上回り最多。県内の感染者数は延べ889人となった。(8/7)
32	沖縄の就業者3万3千人減、失 業率は1.8ポイント上昇 コロ ナで観光客が625万人減ると ...	雇用	2020年の入域観光客数が前年比625万4千人減り、観光消費額が4710億円減少した場合、県全体の就業者数が3万2730人減少し、完全失業率は1.8ポイント上昇すると見込んだ。ただ、県民の外出自粛による個人消費の落ち込みなどは加味しておらず、実際の影響はより大きくなる可能性がある。(8/7、NIACIによる調査)
33	客は途絶えないけど「夜は地 獄」 キャバクラ全国一多い沖縄、 ホステスが明かす苦境	雇用	国が最初に緊急事態宣言を出した4月11日から、沖縄の多くのスナックやキャバクラなどが営業を自粛。沖縄は5月21日に休業要請が終了し、徐々に店が再開していったものの、7月28日、松山でクラスターが発生した。観光で沖縄に来た千葉県の50代無職男性の感染が27日に分かり、その濃厚接触者として、東京都の自営業の40代と50代男性、千葉県の40代、那覇市の30代、名護市の50代の計5人が感染していた。全員が松山の店を客として利用したという。(8/9)

34	内定取り消しは5人／入社延期 4事業所37人	雇用	沖縄労働局が12日までに取りまとめた集計で、新型コロナウイルス感染拡大の影響による内定取り消しが、県内3事業所で5人いたと発表した。内訳は大学などの新規学卒者が2人、新規高卒者が3人だった。(6/16)
35	「従業員がコロナ感染」企業が積極発信「長い目でプラス」「偽情報封じる」	雇用	沖縄県内主要企業や団体は従業員などに新型コロナウイルス陽性者が確認された場合、報道機関向けに広報文を出したり、自社ホームページに掲載したりするなどして公表している。不特定多数の客が訪れる店舗は、従業員の感染情報を公表することが感染拡大防止につながることや、臨時休業を知らせるためという意味合いを持つ。一方、信頼性の確保という観点から直接客とは関わらない部署の従業員の感染も公表する企業がほとんどだ。(8/11)
36	オリオン減収減益、コロナ影響で2期連続 20年3月期	雇用	オリオンビール(豊見城市、早瀬京铸社長)は6日、2020年3月期決算を発表した。新型コロナウイルスの影響で、業務用のたる・ビン商品の販売やリゾートホテル事業が落ち込み、売上高は前年度比2・9%減の249億7300万円となった。経常利益は15・3%減の23億9600万円で、3期連続の減益。減収減益は2期連続となった。当期純利益は、11・5%減の17億7900万円となった。(8/7)
37	コロナ解雇、1カ月で252人増 県内878人に	雇用	沖縄労働局は31日、新型コロナウイルス感染症の影響による解雇・雇い止めやその見込みが、29日時点で少なくとも878人いると発表した。6月26日時点では626人で、約1カ月で252人増加した。確認できた雇用形態の内訳は、正規労働者が279人、非正規労働者が441人で、非正規労働者が61・2%を占める。(8/2)
38	宿泊キャンセル3万2653人 年内損失3億超 沖縄県ホテル組合調査	雇用	県ホテル旅館生活衛生同業組合(宮里一郎理事長)は7日までに、県内ホテルのキャンセル状況について調査結果をまとめた。県独自の緊急事態宣言が発令された7月31日から今月3日までの4日間だけで、県内48施設の年内の予約について3万2653人のキャンセルが出ている。キャンセルに伴う損失額は総額3億3367万円に上る。(8/8)

39	来春の高卒求人倍率、沖縄は0.45倍 コロナで昨年から半減 就活中の学生は切実	雇用	沖縄労働局は28日、2021年3月の県内新規高卒予定者の求人倍率が6月末現在で0・45倍（速報値）だったと発表した。新型コロナウイルスの影響で、事業者からの求人が例年と比べて大幅に減少したため。20年3月新規高卒者の求人倍率は7月末時点で1・19倍だった。労働局は7月の求人倍率が、昨年と同様に1倍を上回る可能性は低いと分析している。（7/29）
40	県内大規模イベント「縮小か中止か」苦慮 コロナ再拡大、実行委も開けず	文化	新型コロナウイルス感染症の再拡大を受け、年内に予定されるイベント開催の可否について関係者が頭を痛めている。産業振興関連のイベント中止は経済への影響が大きく、規模の縮小や開催方法を変更しての開催を目指している。ただ、多くの団体で構成する実行委員会形式のイベントは、コロナの感染防止対策の中で委員会を開くことが難航するという状況がある。（8/11）
41	社説【コロナ 祭りも直撃】伝統絶やさない工夫を	文化	新型コロナウイルスの影響で、長い歴史を持つ祭りや行事が相次いで中止に追い込まれている。「3密回避」のためやむを得ない面があるとはいえ、祭りのない夏はどこか寂しい。しかしこういう時だからこそ、伝統の継承や地域コミュニティの核となっている祭りの大切さを再確認し、来年につなげる取り組みに力を入れてほしい。（7/28）
42	お盆帰省は「控えて」 沖縄県医師会、コロナ対策で訴え 高齢者の感染に懸念	文化	県内外で新型コロナウイルスの感染が拡大していることを受け、沖縄県医師会は7日、県庁で会見を開き、県外にいる県民に対し、お盆休みは帰省を控えるように求めた。（8/7）
43	4カ月ぶりに沖縄芸能を堪能 コロナ後初の公演開催	芸能/文化	新型コロナウイルスの影響で、3月下旬から公演が行われていなかった浦添市の国立劇場おきなわで11日、2020年度最初の企画公演「琉球講談」が開かれた。再開を喜ぶ300人超が詰め掛け、約4カ月ぶりの沖縄芸能を堪能した。（7/12）
44	コロナ感染防止 鑑賞教室を中止 国立おきなわ	芸能/文化	国立劇場おきなわの8日の「琉球舞踊鑑賞教室」と15日の「親子のための組踊鑑賞教室 万歳敵討」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。また、チケットカウンターを除く劇場利用は15日まで休止となる。（8/7）

45	第55回琉球古典芸能コンクール 第10回八重山古典芸能コンクール 審査日程を延期	芸能/文化	琉球新報社は、8月22日に審査開始を予定していた「第55回琉球古典芸能コンクール」と「第10回八重山古典芸能コンクール」について、琉球新報ホールで行う審査日程を延期します。新型コロナウイルスの感染拡大により7月31日に発令された県独自の緊急事態宣言を受け、日程の変更を決めました。(8/4)
----	--	-------	---

＜新型コロナウイルス禍で行われた活動＞

No.	概要	キーワード	詳細
1	タブレットを全生徒に配布へ沖縄の小中学校	教育	県教育委員会は新型コロナウイルス対策を中心とする補正予算で、自宅にインターネット環境がない県立学校（高校、特別支援学校など）の生徒にモバイルルーターを貸与する予算を計上したと発表。（7/8）
2	ピアノ個人練習にホール無料開放	子ども/教育	浦添市のアイム・ユニバースてだこホールは県内在住の小学生から大学生の個人練習を対象に、同ホールの所有するピアノと小ホールを開放する。コンクールや受験に向けた練習での活用を呼び掛ける。（6/30）
3	10万円給付金の寄付相次ぐ子どもの貧困解消へ	子ども/家庭	県内の子どもの貧困問題の解消を目的に設立した「沖縄子ども未来プロジェクト」（代表・武富和彦沖縄タイムス社社長）に、特別定額給付金を寄付する例が相次いでいる。給付金を充てた寄付が26日までに県内外から20件、計195万円寄せられた。個人の寄付が5、6月から増え、昨年同時期と比べて大幅に伸びている。（6/27）
4	外食の味、安全に楽しむ方法	家庭	フェイスブックで公開グループとして「テイクアウトグルメOKINAWA」が立ち上がる。4月8日に開設され、持ち帰りや宅配に対応している飲食店の情報を投稿し共有している。（4/12）

5	「助けて」言ってよかった 困窮ママへ届いた善意	家庭	型コロナウイルス感染症で、苦しかった暮らしがより困窮し、追い詰められていた2児の母で20代の妊婦ミサさん＝仮名 の孤立を報じた沖縄タイムス記事を受け、15日までに約10人から現金や洋服、食料などが届いた。ミサさんは2月に、やむなく夫と別居。新型コロナのあおりで職を失い、所持金が底を突く中、外出自粛で登園や外遊びができない娘2人と昼夜向き合い続け、ストレスで怒鳴ったり、たたいたりしてしまう罪悪感に苦しんでいた。(6/16)
6	コロナで困窮する留学生へ 企業からお米や野菜どっさり	外国人	新型コロナウイルスで困窮する県内在住の外国人留学生を支援しようと28日、沖縄食糧が国産米約319キロ、沖縄セルラーアグリ&マルシェが自社栽培のフリルレタス14キロをそれぞれNPO法人沖縄国際人材支援センターに託した。他に留学生への寄付金も寄せられた。沖縄食糧の伊佐隼人課長は「在住外国人らが県の経済を支えてきてくれた。困っている時は協力したい。お米を食べてパワーをつけていただき、コロナが過ぎた後また一緒に沖縄を盛り上げてほしい」と述べた。(4/30)
7	外国人学生に無償弁当 仕事 激減「放っておけない」	外国人	沖縄県那覇市久茂地の飲食店「みつ子ばあばの台所」が6日、無償で弁当配布を始めた。「経済が好調な時は外国人留学生が貴重な力になってくれた。仕事がなくとも放っておくわけにはいかない。力の続く限り毎日、弁当配布を続ける」と話している。(4/7)